

# 天瑞山 大安寺 護寺会だより

編集・発行 大安寺護寺会広報部  
恵庭市大町4丁目2番25号 大安寺内  
TEL (0123) 34-1093  
FAX (0123) 33-8005  
ホームページURL <http://www.dianji.net>



平成30年5月 釈尊降誕会(花まつり)



# 大安寺護寺会 新役員の紹介

## 地区幹事



有明地区  
三島幸三



漁町地区  
山澤興治



泉町地区  
山本幹夫



京町地区  
石塚隆幸



幸町地区  
鈴木皓一



島松地区  
茗茄弘



美咲野地区  
榎本 傑



恵み野地区  
須藤敏夫



和光地区  
田中義男



有明地区  
及川善博



有明地区  
飯澤秀春



泉町地区  
上坂春雄



柏木地区  
元木 仁



黄金地区  
横道 勇



島松地区  
千田正行



住吉地区  
寺崎博裕



恵み野地区  
工藤時恭



副理事長  
鏡 貢



会計部長  
佐藤龍平



監査部  
榎田 弘



梅花講員長  
千葉美智子



運営部  
榎本 勉



運営部  
小玉進吉



運営部  
榎本敦尚



運営部  
川股洋一



理事長  
遠藤昭雄



総務部長  
中村忠司



監査部  
高田進一



婦人会会長  
佐藤洋子



運営部  
小林和雄



運営部  
野原 聡



運営部  
佐々木八一



運営部  
川原光男



運営部  
三浦一元



2月15日（木）護寺会役員の委嘱状が授与されました。  
今後4年間、お寺と檀信徒の結び役として活動することになります。  
ご協力をよろしくお願いいたします。





# 檀信徒寄稿文



## 残された者の務め（シベリア 編）

住吉町 三浦 孝治

終戦後、樺太（現サハリン）からも多くの軍人や官公庁役職者が、戦犯・反ソ活動者として囚われ、ソ連シベリア地域に強制連行されて死亡されました。

サハリンでの二年間の残留生活でロシア人の気質を承知しており、また片言のロシア語を話すことも出来るので、今までの収集活動経験を生かして貢献したいと、凍土の下に眠っている抑留中死亡者の遺骨収集活動にも参加をさせていただきます。

シベリア赤松や白樺林の中に墓標も無く雑然と並んでいる土饅頭の下には、未だ頭髮や皮膚が付着している頭から足の爪先まで完全なご遺骸が、氏名が判別出来る副葬品も無く、衣服も付けずに素裸の状態で、冷たい凍土に横たわり埋もれておりました。

終戦となり無事家族の元に帰れると安堵をされた意に反して、虜囚となった兵士や官公庁の役職を問われて囚われ

の身となり、遠くシベリアにまで連行抑留され、劣悪な環境と極寒の中、過酷な強制労働と伝染病・飢餓に苛まれ、望郷の念を抱きながら、異郷の地に斃れた無念さがご遺骸には滲み出ているようでした。

収集団員は、「永い間お待たせいたしました。私たちと一緒にご家族が待っている故郷の日本に帰りましょう」と呼びかけながら、凍土に眠るご遺骸を抱き起して、綺麗に泥を拭い一片も残さぬように収集しました。お一人ずつ収集する白い袋に納め、背中に担いで歩きますと、カラカラと骨のぶつかり合う音が「アリガトウ」と言うように聴こえました。

シベリア地域では、イルクーツク州とチタ州の二か所で祖国にお迎えをする活動に参加させていただきました。



シベリア チタ州





議員 杉村 悦子

結婚して四十五年。嫁いだ時は祖母も姑も居て、仏様・神様守りはお任せの私。お寺への出入りは、送迎時やお盆、春・秋彼岸のお参りの時の顔出しくらいでした。

今は姑も亡くなり、お寺出入りは私の仕事の一つと成りました。実家の母も真言宗でしたが、行っていましたので、梅花流御詠歌に誘われた際、深く考える事なく入会しました。習ってみると大変…。同期・仲間・先輩・家族さんの助けを受けながら、今に至っています。

十数年流れた今、後輩も増えて先輩と言われる立場なのに、未だ心配な生徒の一人です。人間的にも、梅花の「お誓いの言葉」に少しでも近づける様に心しますが…。

只、同じ目的に向かう仲間が出来て、いつも嬉しく思っています。大切な一生の仲間でいたいと強く願っています。私が全国大会に初めて参加したのは、入会した翌年に札幌の地で開催されたので参加。平成十八年六月でした。右も左も判らず、只々人数の多さに驚いて終わりました。

その後、梅花六十周年大会の千葉県幕張や富山県、昨年の大本山永平寺報恩献詠をさせて頂き、本年の静岡大会、梅花発祥の地と言われる所も訪れて来ました。

どこの大会の時も多人数のため、



二日間に渡っての大会と聞いて、その御苦労は大変な事だと、頭の下がる思いでいます。いつの時も大きな感動・厳かさ・雄大さを体験して帰ります。

今年登壇奉詠後の駒澤大学吹奏楽部の清興も素晴らしい時間でした。そして、最後のお別れの時間には、初めてお逢いする人々が多い中「本当にまた元気で逢いましょうね」と心から思っ、別れの手を振る、振れる気持ちを大切にしていこうと思いました。

この先何回参加させて頂けるかわかりませんが、失敗・つまずき・心配などあると思いますが、皆同じ思いの仲間が「全国で頑張っているのだよ」という思いで頑張ります。

お蔭様で今の処、健康で日々の暮らしを送らせて頂いている事にご利益を感じます。また、全国梅花講の皆様とお逢い出来る事を楽しみに、筆を置きま

す。  
全国の梅花講員が増える事を願って  
…祈って。



# 平成三十年上半期の行事報告

## 元朝・大般若祈禱会

がんちよう だいはん にやき どうえ

一月一日（月）午前0時修行

人類の幸福・世界平和・仏法興隆  
・家門繁栄等、仏法僧の三宝に帰依  
するすべての人々が永く久しく幸福  
である事を皆様と祈願し、大般若・  
立春大吉・鎮防火燭（ご尊家の万福  
を祈願し、ご祈禱した御礼）を皆様  
にお渡しいたしました。

## 厄払い追儺会

やく はらい ついな え

二月三日（土）午後六時修行

新しい年を迎えるにあたり、年祝  
・本厄・前後厄・合格・交通安全・  
身体堅固・家内安全・商売繁盛・安  
産祈願をいたしました。

本堂では赤い半纏を着た本厄・年  
祝・合格祈願の方による豆まきが行  
われました。



## 釈尊涅槃会

しゃくそん ねはん え

二月十五日（木）午前十一時修行

お釈迦さまが入滅されたご命日  
です。恵庭幼稚園の園児たちと涅槃団  
子をお供えして、無病息災を願いま  
した。

## 春季彼岸会

しゅんき ひがん え

三月二十一日（水）午前十一時修行

多くの方がご先祖供養に訪れ、静  
かに手を合わせてお祈りする姿が見  
られました。

また、ご先祖供養と合わせて水子  
供養も行ないました。

## 釈尊降誕会

しゃくそん ぐうたん え

五月八日（火）午前十一時修行

一般には「花まつり」とも言われ、  
恵庭幼稚園の園児たちと花まつりの  
歌を歌って、お釈迦さまのご誕生を  
お祝いしました。

また、お釈迦さまが乗った白象を  
山門から本堂入り口まで綱を引きま  
した。

# お寺からの お知らせ

## 護寺会総会

一月三十一日（水）午前十一時より、平成三十年度大安寺護寺会総会が開催されました。

総会では理事及び地区幹事が出席し、以下の事項が審議され承認されました。

- 一、前年度の事業報告と決算報告
- 二、本年度の事業計画と予算案
- 三、役員を選任

## 浄財を寄付

お寺に設置されている賽銭箱に皆様方から御喜捨いただきました浄財より、公益社団法人シャンティ国際ボランティア会のSAVAアジア子ども募金に65,934円と

あしなが育英会に289,322円を寄付いたしました。

## お寺に寄付

檀信徒である中島町の手島満様より、境内の赤松・イチヨウ・桜の木の新定工事金（廃棄処理費含む）として十八万円を、お寺に寄付をいただきました。

## 任職が権大教師に

この度任職が、曹洞宗僧侶教師の権大教師の資格を任じられました。

このことにより、四月三日付にて黄恩衣（黄色い衣）を被着することが許可されました。

九月五日の両祖忌法要にて、辞令が伝達されて黄色いお衣を着られたお姿がお披露目される予定です。どうぞご参拝ください。

## 平成三十年下半期の 大安寺行事予定

○八月十六日（木） 午後一時

盂蘭盆会・初盆供養

（十二時より昼食）

○九月五日（木） 午前九時半

両祖報恩会・万灯供養

○九月二十三日（日） 午前十一時

春季彼岸会・水子供養

生前戒名授与式 午後二時

○十二月七日（金） 午前十一時

釈尊成道会

次号護寺会だより二十一号は

平成三十年十二月末頃の

発刊予定です。